

平成29年第2回豊後高田市議会定例会会議録（第1号）

○議事日程〔第1号〕

平成29年6月14日（水曜日）午前10時0分開会

※開会宣告

※開議宣告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 第29号議案から第32号議案まで、第1号報告から第4号報告まで及び報第2号から報第7号まで
提案理由説明

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

○出席議員（18名）

- | | | |
|------|-----|-----|
| 1 番 | 安 達 | かずみ |
| 2 番 | 中 尾 | 勉 |
| 3 番 | 黒 田 | 健 一 |
| 4 番 | 甲 斐 | 明 美 |
| 5 番 | 井ノ口 | 憲 治 |
| 6 番 | 阿 部 | 輝 之 |
| 7 番 | 土 谷 | 信 也 |
| 8 番 | 近 藤 | 紀 男 |
| 9 番 | 成 重 | 博 文 |
| 10 番 | 安 達 | 隆 |
| 11 番 | 松 本 | 博 彰 |
| 12 番 | 河 野 | 徳 久 |
| 13 番 | 安 東 | 正 洋 |
| 14 番 | 北 崎 | 安 行 |
| 15 番 | 河 野 | 正 春 |
| 16 番 | 山 本 | 博 文 |
| 17 番 | 菅 | 健 雄 |
| 18 番 | 大 石 | 忠 昭 |

○欠席議員（0名）

○職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

事務局 長	水 江 和 徳
主幹兼庶務係長	次 郎 丸 浩 一
議事係 長	板 井 保 明
主 査	小 門 敏 宏

○説明のため議場に出席した者の職氏名

市 長	佐々木 敏 夫
総務課 長	佐 藤 之 則
財政課 長	飯 沼 憲 一
企画情報課 長	藤 重 深 雪
地域活力創造課 長	川 口 達 也
税 務 課 長	近 藤 幸 一
保険年金課 長	丸山野 幸 政
社会福祉課 長	植 田 克 己
ウェルネス推進課 長	伊 南 富 士 子
人権・同和对策課 長	清 水 栄 二
環 境 課 長	後 藤 史 明
商工観光課 長	河 野 真 一
農業ブランド推進課 長	藤 原 博 文
耕地林業課 長	都 甲 賢 治
建 設 課 長	永 松 史 年
上下水道課 長	大 力 雅 昭
会計管理者兼会計課 長	尾 形 稔
農業委員会事務局長	佐々木 真 治
選挙管理委員会・監査委員事務局長	
	土 谷 恒 男
消 防 長	宗 高 徳
総務課 人事給与係 長	伊 藤 昭 弘
総務課 総務法規防災係 長兼秘書係 長	
	近 藤 毅
教育委員会	
教 育 長	河 野 潔
教育庁総務課 長兼地域総務一課 長	
	安 藤 隆 治
教育庁学校教育課 長	小 川 匡
教育庁文化財室 長	板 井 浩

○議長（安達 隆君） 皆さん、おはようございます。

会議に先立ちまして、ご報告をいたします。

5月24日に東京で第93回全国市議会議長会定期総会が開催され、全国市議会議長会表彰規程により、10年市議会議員の職にある者として、近藤紀男議員が表彰されましたので、ご報告いたします。

これより、表彰状の伝達式を行います。

○事務局長（水江和徳君） ただいまから、全国市議会議長会の表彰状の伝達式を始めます。

10年市議会議員の職にある者として近藤紀男議員が受賞されました。

6月14日

伝達をよろしく願いいたします。

○議長(安達 隆君)

表彰状

豊後高田市 近藤紀男 殿

あなたは市議会議員として10年市政の振興に務められ、その功績は著しいものがありますので第93回定期総会にあたり本会表彰規程により表彰いたします。

平成29年5月24日

全国市議会議長会会長 山田一仁 代読
(拍手)

○議長(安達 隆君) 市長、佐々木敏夫君。

○市長(佐々木敏夫君) 市民を代表いたしましてお祝いのご言葉を申し述べます。

近藤議員におかれましては、この度の全国市議会議長会の表彰、誠におめでとうございませう。また、長年に渡り市政に対しましてご尽力をいただきましたことに敬意を表しますとともに感謝を申し上げます。今後とも、市政につきましてもご指導・ご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

おめでとうございませう。

○議長(安達 隆君) ただいまの出席議員は18名で、議員全員の出席であります。

よって、平成29年第2回豊後高田市議会定例会は成立いたしましたので、開会いたします。

○議長(安達 隆君) この際、諸般の報告をいたします。

お手元に配付いたしました事務報告書のとおりでありますので、ご了承を願います。

○議長(安達 隆君) これより、本日の会議を開きます。

市長ほか関係者の出席を求めましたので、ご了承を願います。

○議長(安達 隆君) 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員に5番、井ノ口憲治君及び6番、阿部輝之君を指名いたします。

○議長(安達 隆君) 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。今期定例会の会期は、本日から6月29日までの16日間といたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(安達 隆君) ご異議なしと認めます。よって、今期定例会の会期は、本日から6月29日までの16日間と決定いたしました。

なお、会期中の会議予定は、お手元に配付してあります会議予定表のとおりであります。

○議長(安達 隆君) 日程第3、第29号議案から第32号議案まで、第1号報告から第4号報告まで及び報第2号から報第7号までを一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

市長、佐々木敏夫君。

○市長(佐々木敏夫君) 本日ここに第2回定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご出席をいただきまして、まことにありがとうございます。

提案理由の説明に先立ち、さきの市長選挙におきまして、議員各位を初め、市民の皆様の信任をいただき、当選できましたことに、心より感謝を申し上げます。

市政を預かり、市民の皆様の負託に応えることの責任の重さを痛感いたしますとともに、身の引き締まる思いがしております。

豊後高田市の発展のため、全身全霊を傾注してまいる所存でありますので、何とぞご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

また、初めての議会でありますので、この場をおかりして、今後の市政運営について、私の所信の一端を申し述べさせていただきます。

私の目指す豊後高田市は「安心して暮らせるまち」「にぎわうまち」「子どもたちの笑い声が聞こえるまち」であります。

人口減少、少子高齢化、将来の財政負担など、国も地方も多くの問題を抱えています。

各自治体は、「地方創生」のもとで、あらゆる施策を講じ、人口の維持、地域活性化にしのぎを削っています。

その中でも、私は、人口減少対策が最重要課題とっております。「国立社会保障・人口問題研究所」の分析では、何も手を打たなければ、2040年には本市の人口は15,000人台にまで減少し、高齢化率は42%になると予想されています。

人口減少と高齢化により、地域経済の担い手、消費の担い手、地域コミュニティの担い手がなくなります。

そして、市の財政基盤である税収や地方交付税も大幅に減少します。子どもがいなくなれば、学校も

なくなり、地域はさらに衰退していきます。

本市は、永松前市長が、昭和の町、教育、子育て、農業、企業誘致を初め、多くの分野で着実に成果を上げられ、全国にも知られるまちにさせていただきました。

また、人口減少問題にもいち早く気付かれ、全国に先駆け、移住・定住施策を初め、人口増加に資するありとあらゆる施策を展開され、過疎自治体である本市を社会増の状況にさせていただきました。

さらに、新庁舎を初め、今後の市政運営を見据えた基盤づくりもさせていただきました。

私は、永松前市長が築かれた市政を継承し、この勢いをとめることなく、さらに、もう一步踏み込んだ市政に取り組んでまいりたいと考えております。

そのために必要な施策の柱として、私は、2つの柱を掲げます。

1つは「人口増施策」で、そしてもう一つは「新たな観光振興」であります。

まず、「人口増施策」であります。市勢の発展には、人の力が最も大事であります。その人をふやすのは、今しかありません。

市外からの移住人口をふやす施策として、2つ考えております。

一つは、周辺部に移住者向けの分譲団地を造成し、無償で提供します。これは周辺部対策でもあります。

もう一つは、「子育て支援の充実」であります。

子どもたちには、心身ともに健やかに育てほしいと思うのが親心であります。その親御さんたちが、「豊後高田市で子育てをしたい、教育を受けさせたい」と思っただけのように、「高校までの医療費の無料化」と「小・中学校の給食費の無償化」に取り組めます。

そして「新たな観光振興」であります。

豊後高田市全体を一大観光拠点化し、昭和の町や恋叶ロードの観光客をさらにふやすため、国東半島六郷満山、仏の里にふさわしい石造文化の整備に取り組めます。

これらは、大胆過ぎると思われるかもしれませんが、「挑戦なくして、夢のあるまちにはなれません」「投資なくして、さらなる発展はありません」。

人口減少は、待ったなしの状況であります。

スピード感を持って、全力で取り組んでまいりますが、「将来の財政見通しはきちんと立つ市政」に心がけ、また、現地に足を運び、市民の皆様の声もよく聞きながら、「信頼される市政」に取り組んで

まいります。

そのほかの分野におきましても、これまでの施策を継承しながら、私なりに新たな資源を掘り起こしてみたいと考えております。

特に、農業につきましては、本市の基幹産業であり、本市で生産される多くのものがブランド化、6次産業化の可能性を秘めております。競争力とブランド力を高め、魅力ある産地づくりを進めてまいります。

また、すでに西日本有数の産地となっております白ネギ、ソバにつきましても、さらなる産地拡大、6次産業化を図ってまいります。

さらに、中山間地における加工産業と農業の連携により「もうかる農業」にも挑戦してみたいと考えております。6次産業化を進めることで、市内商業、工業、観光、その他の分野にも波及させ、地域経済全体の底上げを図ってまいります。その担い手として、移住者の方も大いに活用し、雇用の場も創出してまいります。

また、農業者の皆さんが安心して農業に取り組めるように、有害鳥獣対策にも力を入れてまいります。

そして、安全安心なまちづくりであります。

高齢化が進む中、地域におきましては、さまざまな課題が生じてきています。高齢者にやさしく、誰もが住みやすいまちになるように、高齢者などの日常生活の利便性向上のため、「市民乗合タクシー」を充実させてまいります。

また、近い将来、高い確率で来ると言われている南海トラフを震源とする巨大地震や、台風などの自然災害から市民の皆様を守るため、危機管理体制の充実を図ってまいります。

教育につきましては、学校、地域、行政と一体となった取り組みを引き続き推進してまいります。

また、市民のためになる市役所を目指しつつ、働き方改革も進めてまいります。

なお、現在、取り壊しが行われております旧農協跡地に整備を計画しておりました健康増進施設を併せ持つ地域交流センターの建設につきましては、計画を見直したいと考えております。

この事業につきましては、第2次豊後高田市総合計画に基づく「市民総ぐるみの健康なまちづくりの推進」を図るため、旧庁舎跡地の、健康づくりができる機能を備えた公園整備と一体的に環境整備を進めておりましたが、市民の皆様からの声を広くお聞きする中で、中央公園や健康交流センター花いろと

6月14日

いった既存施設とのすみ分けなど、将来的に費用対効果が見込まれないのではないかと判断をしたところでございます。

今後、旧農協跡地につきましては、旧庁舎跡地の公園整備と一体的に運動公園として整備し、市民の皆様が健康づくりに取り組みやすい環境整備に努めてまいりたいと考えております。

今後の市政運営について、所信の一端を述べさせていただきますましたが、議員の皆様を初め、市民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

次に、市政に関する諸般の報告を申し上げます。

まず、ケーブルネットワーク施設整備事業についてでございます。

議員の皆様のご支援をいただき、平成20年度から供用開始いたしました「ケーブルネットワーク」は、平成30年度で10年が経過し、機器の入れかえ等、高額な設備投資が必要となります。

設備の内容について、検討を始めてまいりたいと思います。

次に、市税の課税誤りについてでございます。

昨年12月、後期高齢者医療制度において、保険料の軽減判定誤りが全国的に発生いたしました。国民健康保険税の軽減判定につきましても同様に、一部の被保険者の方に誤りがあることが判明いたしました。

本市の状況でございますが、還付が11世帯12件で4万6,800円、追加徴収10世帯11件で33万2,300円でございます。

該当世帯に対しまして、戸別訪問の上、謝罪と経緯の説明を行ってまいりました。

また、平成28年度のふるさと納税に係る寄附金税額控除において、電算システムの誤りにより、1名の課税誤りが判明し、3,100円を追加徴収することとなりました。

市民の皆さんに対しまして、おわびを申し上げますとともに、再発防止と信頼回復に努めてまいり所存でございますので、何とぞよろしくお願いを申し上げます。

それでは、本定例会に提案いたしました議案等について、その概要をご説明申し上げます。

本年度の当初予算は、義務的経費や経常的経費を中心とした骨格予算でありますことから、今回は、政策的経費や新規事業、私が公約に掲げました事業を肉付け予算として計上するものでございます。

まず、第29号議案の平成29年度一般会計補正予算（第2号）につきましては、5億8,275万7,000円の増額補正で、補正後の予算総額は141億7,074万7,000円となります。

補正予算の主な内容につきましては、総務費では、市長の給料等の減額補正のほか、地域おこし協力隊の活動マネジメント、映画上映会、平成30年度に開催されます国民文化祭の準備に要する経費等を計上しています。

衛生費では、がん検診の項目拡充や、小規模事業所への健康支援、大人を対象とした歯科検診、離乳食講座の実施等、市民の健康を増進するための経費等を計上しています。

労働費では、市内企業への学生の就業を促進するため、奨学金の返済に対する助成経費を計上しています。

農林水産業費では、老朽化した農業水利施設の保全計画や、圃場整備事業の採択に必要な農地集積計画の作成、白ネギの作付面積の拡大を図るための土地改良事業に要する経費を計上しています。

商工費では、若者や移住者の創業が当初の見込みを上回ったことにより「起業チャレンジ支援補助金」の増額、昭和の町の再開発や国東半島の特徴である石造文化をテーマにした観光振興についての調査・検討に要する経費を計上しています。

土木費では、「社会資本整備総合交付金」を活用したインフラ施設の長寿命化を図るための補修工事や市道の改良工事、旧庁舎跡地の公園整備に要する経費等を計上しています。

消防費では、老朽化した高規格救急車の更新に要する経費を計上しています。

教育費では、小・中学校の事務用パソコンを年次計画により更新する経費や、学校施設の長寿命化計画の策定に要する経費等を計上しています。

第30号議案の平成29年度特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、真玉処理区、香々地処理区に係る全体計画及び事業計画の変更に要する経費を計上しています。補正額は1,511万円の増額で、補正後の予算総額は2億1,715万4,000円となります。

次に、予算以外の議案及び報告についてご説明申し上げます。

第31号議案の市長の給料月額及び退職手当の特例に関する条例の制定につきましては、このたびの選挙に際し公約に掲げておりました「給料を半額」「退

職手当なし」を実施するため、本条例を制定するものでございます。

第32号議案、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、個人情報の定義に個人識別符合を追加するため、関係条例を改正するものでございます。

第1号報告の平成29年度一般会計補正予算（第1号）につきましては、地方自治法第179条第1項の規定に基づき、大分県議会議員補欠選挙に係る予算の専決処分をいたしましたので、同条第3項の規定により報告をし、承認を求めるとのことでございます。

第2号報告から第4号報告までにつきましては、市税条例、市税特別措置条例及び国民健康保険税条例について、早急に所要の規定の整備を行う必要が生じたため、地方自治法第179条第1項の規定に基づき、専決処分をいたしましたので、同条第3項の規定により報告し、承認を求めるとのことでございます。

報第2号及び報第3号につきましては、地方自治法施行令第146条第2項の規定に基づき、一般会計及び簡易水道事業特別会計に係る事業繰り越しについて報告するものでございます。

報第4号から報第6号までにつきましては、地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、土地開発公社、スパランド真玉及び観光まちづくり株式会社の経営状況を報告するものでございます。

報第7号につきましては、公用車の事故に係る損害賠償の額の決定及び示談について、地方自治法第180条第1項の規定に基づき専決処分をいたしましたので、同条第2項の規定により報告するものでございます。

以上で、本定例会に提案いたしました議案等について説明を終わりますが、何とぞ慎重審議の上、ご協賛賜りますようお願いを申し上げます。

○議長（安達 隆君） 以上で本日の日程は全部終了いたしました。

あすから6月19日までを休会いたします。

次の本会議は、6月20日午前10時に再開し、議案質疑を行います。

なお、議案質疑の通告は、明日正午までに提出をお願いします。

本日はこれにて散会いたします。

午前10時32分 散会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

豊後高田市議会議員 安 達 隆

豊後高田市議会議員 井ノ口 憲 治

豊後高田市議会議員 阿 部 輝 之